

平成30年度 決算の概要

平成30年度の決算が、5月28日に開催された第200回組合会で承認されました。
各経理の決算概要は次のとおりです。

経理別収支決算一覧表

(単位：千円)

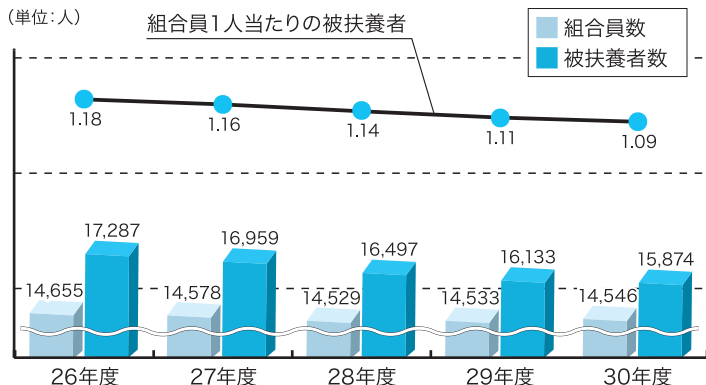
区分	収入	支出	当期利益金 (△当期損失金)
短期経理	9,860,818 923,693	10,212,425 932,895	△ 351,607 △ 9,202
厚生年金保険経理	19,952,027	19,952,027	0
退職等年金経理	1,275,560	1,275,560	0
経過的長期経理	147,025	147,025	0
退職等年金預託金管理経理	5,119	5,119	0
経過的長期預託金管理経理	21,252	21,252	0
業務経理	297,296	287,605	9,691
保健経理	396,251 5,354	371,609 5,354	24,642 0
宿泊経理	278,856	229,508	49,348
貯金経理	653,456	748,589	△ 95,133
貸付経理	37,867	44,033	△ 6,166
物資経理	5,593	9,149	△ 3,556

※短期経理の欄の上段は医療保険、下段は介護保険の収支を示す。

※保健経理の欄の上段は保健事業、下段はメンタルヘルス対策事業の収支を示す。

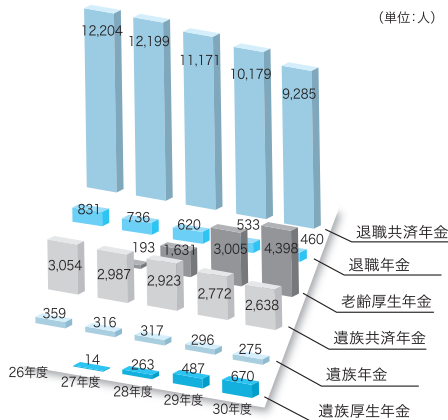
組合員数と被扶養者数の推移 (任意継続組合員を除く。)

(単位：人)



年金種類別支給件数の推移

(単位：人)



年金種類別支給件数・1件当たり金額

(単位：件、円)

区分	支給件数	1件当たり金額
退職共済年金	9,285	1,235,762
遺族共済年金	2,638	1,280,667
退職年金	460	2,043,510
遺族年金	275	1,167,722
老齢厚生年金	4,398	915,501
遺族厚生年金	670	1,172,507

30年度は、199億5200万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

この経理では、厚生年金給付等の原資となる組合員保険料・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会(以下「全国連合会」という。)へ全額払い込んでいます。

厚生年金保険経理

経過的長期経理

この経理では、被用者年金一元化前に裁定された公務障害給付等に係る負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいます。

30年度は、1億4700万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

退職等年金経理

この経理では、退職等年金給付及び被用者年金一元化後に裁定された公務障害給付・公務遺族給付の原資となる掛金・負担金を収納し、全国連合会へ全額払い込んでいます。

30年度は、12億7560万円を収納し、全額を全国連合会へ払い込みました。

平成30年度決算概要

短期経理

この経理は、組合員及び被扶養者の医療給付及び出産・休業・災害などに係る給付、また、介護保険に係る資金の収納及び納付を行う経理です。

〈短期給付関係〉

30年度は、財源率を99・7%とし、全国連合会が実施する財政調整事業の交付金を受けて運営しました。

収入総額は、掛金・負担金など98億6080万円で、給与改定の実施及び高齢者医療運営円滑化等事業費の国庫補助金の交付などから、事業計画よりも1億7530万円の増となりました。

一方、支出総額は、102億1240万円となりました。高齢者医療制度に係る拠出金等は、43億8360万円で、支出額に占める割合は約40%と依然として短期経理の財政を圧迫しています。



収支決算の結果、3億5160万円の当期損失金が生じたため、前年度から繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩して補てんしました。

※医療費の状況については、10Pをご覧ください。

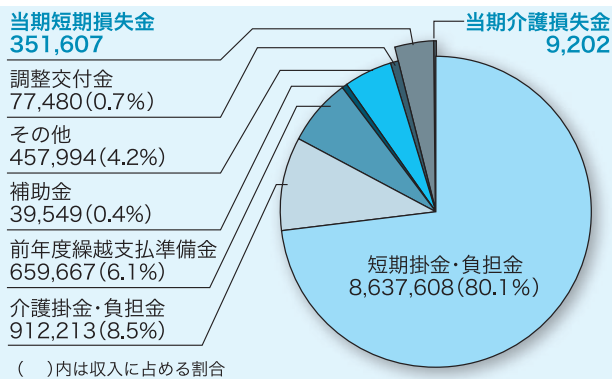
〈介護保険関係〉

30年度は、財源率を14・34%とし運営した結果、920万円の当期損失金を計上しましたので、介護積立金を取り崩し補てんしました。



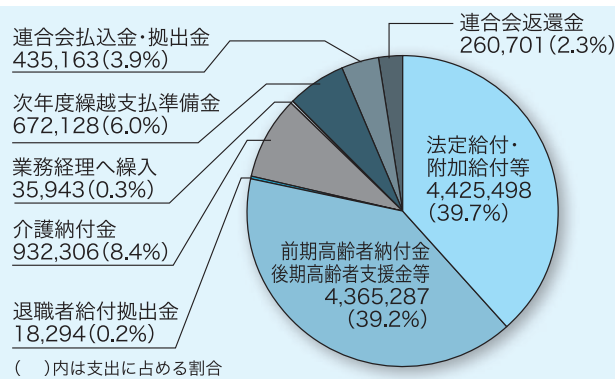
収入 10,784,511

(単位：千円)

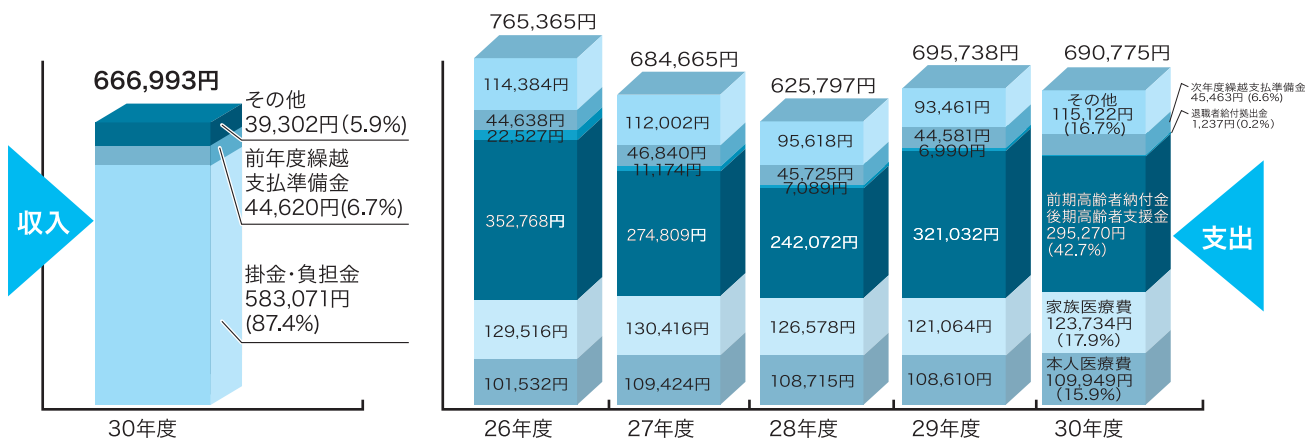


支出 11,145,320

(単位：千円)

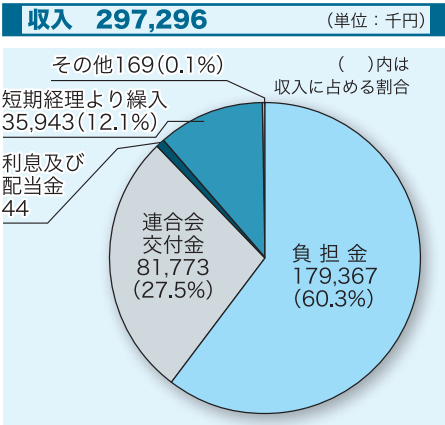


組合員1人当たりの収入・支出（介護保険を除く。）内訳



業務経理

この経理は、医療及び年金の給付を行うための事務費等を賄う経理です。



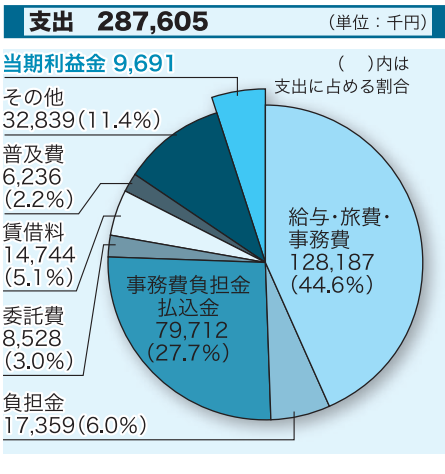
収入総額は、地方公共団体からの負担金、短期経理からの繰入金及び全国連合会からの交付金など2億9730万円となりました。

一方、支出総額は、2億8760万円、諸経費の節減に努めた結果、事業計画より1420万円の減となりました。

収支決算の結果、970万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

保健経理

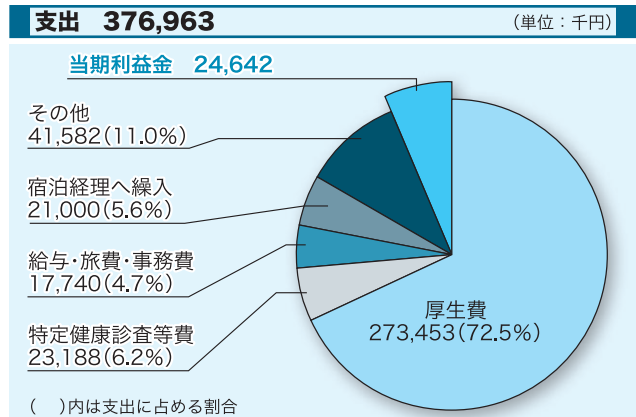
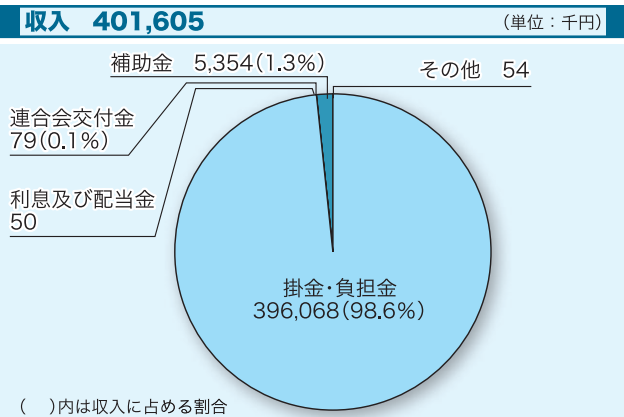
この経理は、組合員及びその被扶養者の健康の保持・増進のため、人間ドック等の利用助成事業、特定健康診査・特定保健指導及びデータベース事業等を行う経理です。



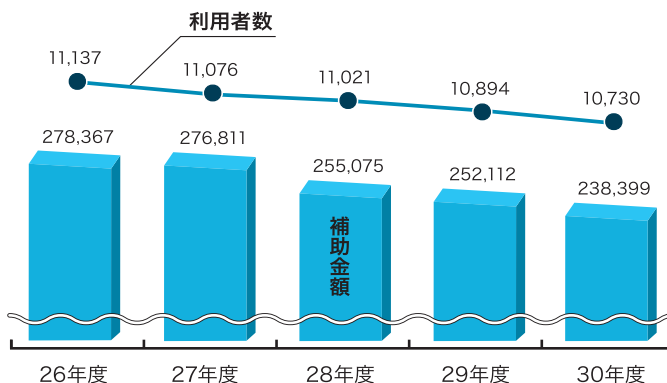
収入総額は、掛金・負担金など4億160万円となりました。

一方、支出総額は、人間ドック等の利用助成などの厚生費や特定健康診査等費など、3億7700万円となりました。

収支決算の結果、2460万円の当期利益金を計上しましたので、全額を積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。



人間ドック・脳ドック利用者数及び補助金額の推移 (単位：人、千円)



(備考) 1人当たり補助金額を平成28年度に27,000円から25,000円に、平成30年度に25,000円から24,000円に引き下げた。

保健事業実施状況 (単位：千円、%)

項目	金額	割合
人間ドック利用助成	232,355	78.3
脳ドック利用助成	6,044	2.1
特定健診・特定保健指導	23,188	7.8
愛媛共済会館利用助成	7,138	2.4
がん検診等補助	6,586	2.2
福祉施設利用助成	551	0.2
インフルエンザ予防接種補助	12,379	4.2
県・市町連携メンタルヘルス	5,329	1.8
その他	3,071	1.0
合計	296,641	100.0

平成30年度決算概要

宿泊経理

この経理は「えひめ共済会館」の経営・運営を行う経理です。

30年度は老朽化・防災対策のための改修工事を行い、昨年9月1日にリニューアルオープンしました。

収入総額は、施設収入や改修工事に係る繰入金など2億7890万円となりました。

一方、支出総額は、改修工事に伴う修繕費など、2億2950万円となりました。

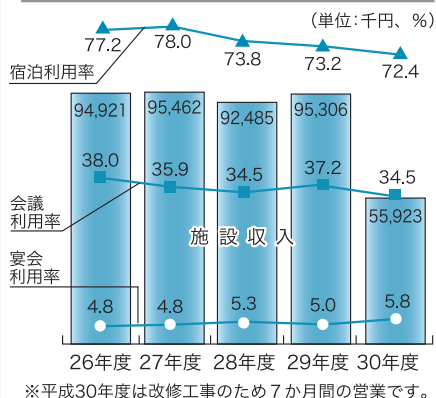
収支決算の結果、4940万円の当期利益金を計上しましたので、全額を欠損補てん積立金及び積立金として積み立て、翌年度へ繰り越しました。

えひめ共済会館は、安全・安心、より快適な施設として引き続き健全運営に努めてまいります。

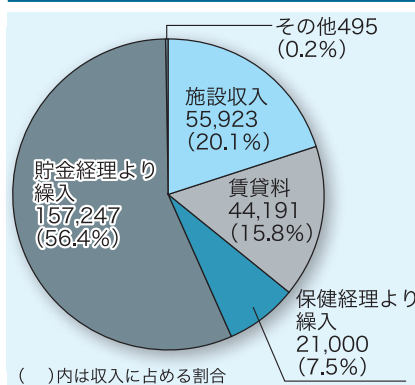
組合員の皆さまのご利用を従業員一同心よりお待ちしております。

また、本年8月1日(木)より、えひめ共済会館でのお支払いにつきまして、カード決済を導入いたします。詳細につきましては、7ページをご覧ください。

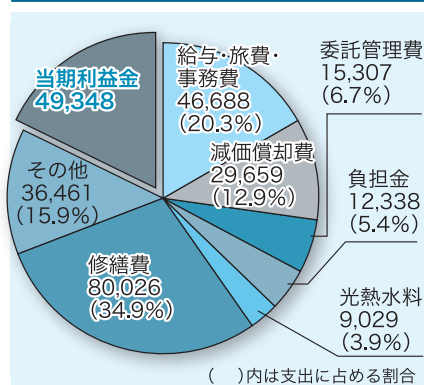
えひめ共済会館施設収入及び利用率の推移



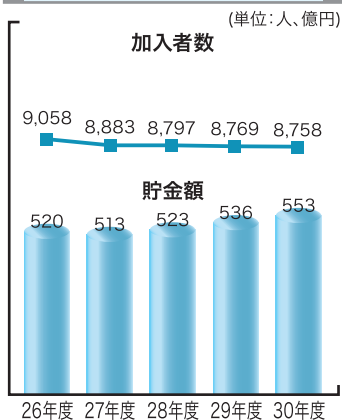
収入 278,856 (単位:千円)



支出 229,508 (単位:千円)



組合員貯金額・加入者数の推移



貯金者数は8758人で、組合員加入率は前年度から0.05%減の59.36%となりました。

収入総額は、資金運用による利息及び配当金など6億5350万円となりました。

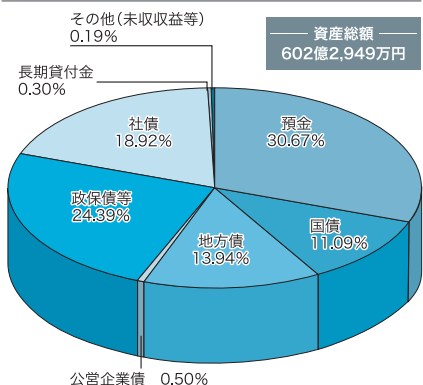
一方、支出総額は、支払利息や宿泊経理への改修工事に係る繰入金など7億4860万円となりました。

収支決算の結果、9510万円の当期損失金を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

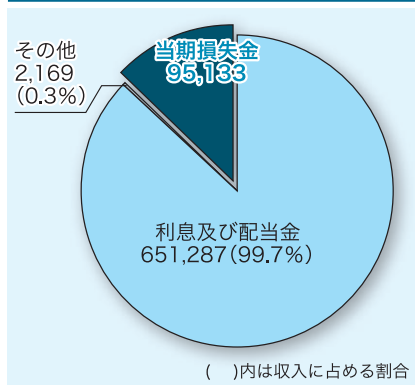
貯金経理

この経理は、組合員の皆さまからお預かりした資金を安全かつ効率的に運用して、皆さまの生活設計に寄与するための貯金事業を行う経理です。

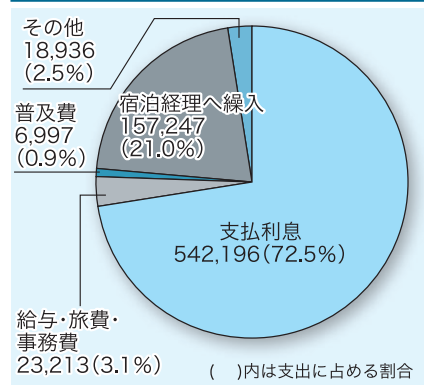
平成30年度決算 貯金経理 資産構成割合



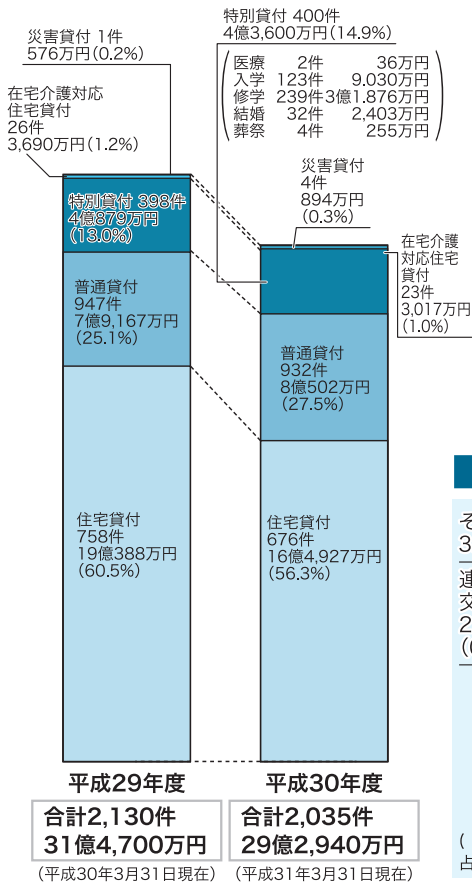
収入 653,456 (単位:千円)



支出 748,589 (単位:千円)



組合員貸付金の状況



この経理は、組合員の皆さまの臨時の支出に対して貸付けを行う経理です。

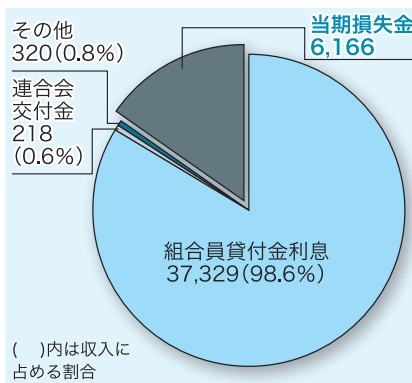
収入総額は、組合員貸付金利息など37,900万円、支出総額は、貸付資金の借入に対する支払利息など41,000万円となりました。

収支決算の結果、620万円の当期損失が生じたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

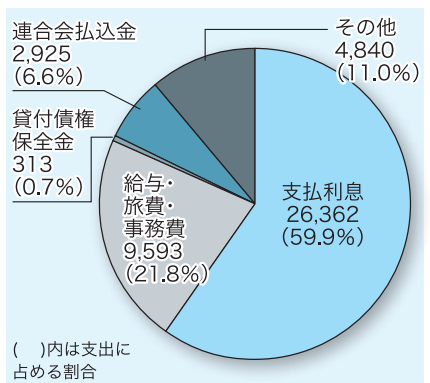
平成30年1月に貸付利率を年2.66%から年1.26%に引き下げたことから、前年度と比べて新規の貸付件数は83件、貸付金額は1億5,990万円増加しました。

貸付経理

収入 37,867 (単位:千円)



支出 44,033 (単位:千円)



物資供給事業販売状況 (単位:件、千円、%)

販売品目	件数	金額	割合
自動車	77	111,559	99.6
自動二輪車	1	193	0.2
家具	1	258	0.2
合計	79	112,010	100.0

この経理は、組合員の皆さまが本組合の指定業者から自動車等を購入する際に、購入代金を立替払いする事業を行う経理です。

収入総額は、指定店からの販売手数料や物資利用組合員からの立替金利息など560万円となりました。

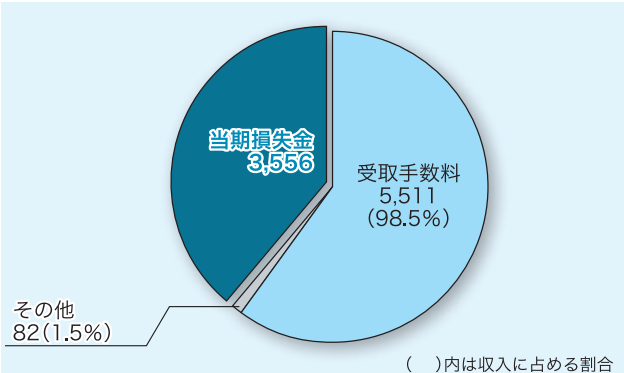
一方、支出総額は、支払利息や貸付事故に係る保険料など920万円となりました。

収支決算の結果、360万円の当期損失を計上しましたので、前年度から繰り越した積立金を取り崩して補てんしました。

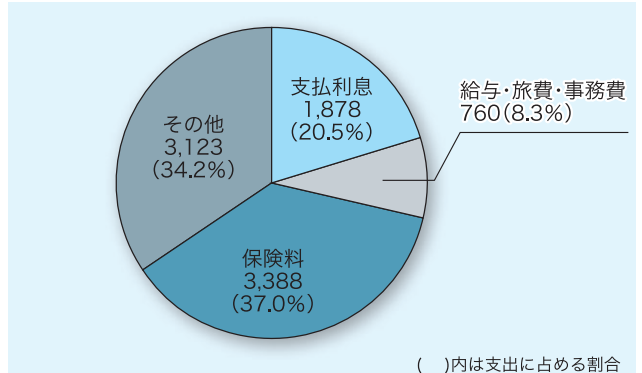
なお、貸付事業と同様、平成30年1月から立替金利率の引き下げを行い、年利1.9%としています。

物資経理

収入 5,593 (単位:千円)



支出 9,149 (単位:千円)



平成30年度決算概要

退職等年金 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から退職等年金給付に係る余剰金の一部の預託を受けて、主に組合員への貸付資金として管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など510万円で、全額を全国連合会へ払い込みました。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで本年7月1日に公開しています。

経過的長期 預託金管理経理

この経理は、全国連合会から年金給付に係る余剰金の一部の預託を受けて、管理・運用を行う経理です。

収入総額は、運用により生じた利息及び配当金など2130万円で、全額を全国連合会へ払い込みました。

資金運用に関する情報は、本組合のホームページで本年7月1日に公開しています。